

朝学習や帰りの会で NIEタイムに取り組もう!

簡単ができる!
NIEタイムとは?



10～15分程度のすきま時間を利用し、新聞スクラップや記事要約、記事ワークシートなどに取り組む活動です。週1回程度を目安に継続して取り組むことで、読解力や表現力が向上します。



→ 学校向け「教材用価格」を設けている新聞社もあります

新聞協会の調査では、週に1回以上NIEを
実践する学校の力が大きく伸びています!

		大幅に伸びた	伸びた
教員	指導力	9% (1%)	53% (25%)
	読む力	14% (2%)	52% (31%)
児童生徒	書く力	13% (2%)	48% (28%)

下線は「日常的＝週1回以上」、
カッコ内は「年に数回」実践する学校の割合

大きな
きか!

探究的な学習において、日常的に新聞を読む子どもは、課題発見力が高いといわれています。また、新聞の正確な情報に毎日触れることで、情報の価値や真偽を見極める力も身につきます。



日本新聞協会
NIEコーディネーター
(元小学校校長)
関口 修司



Newspaper in Education

NIEウェブサイトをご活用ください!

▶ NIEの実践情報が満載!

新聞を活用した
教育実践
データベース

教育実践データベース 🔍

<https://nie.jp/report/>

「授業で新聞をどう使えばいいの?」という先生方に向け、他の先生による実践例を多数紹介。対象学年、教科・科目、使用教科書などから検索できます!

▶ その他のコンテンツも盛りだくさん!

- 「メディアリテラシー」や「ICT」など、テーマごとに解説動画を掲載!
- 「主権者教育」や「学校図書館」のページも!
- 新聞社のお役立ち教材や、NIEのサポート窓口も紹介しています!

新聞で 学びが変わる!



学校での学びが
社会と
つながっているよ!

授業づくりの
アイデアの宝庫だね



NIEウェブサイト
はこちら▶

NIE 検索 <https://nie.jp/>



一般社団法人 日本新聞協会

〒100-8543 東京都千代田区内幸町 2-2-1
日本プレスセンタービル7階
電話: 03-3591-4410 (新聞教育文化部 NIE 担当)

NIEとは？

NIEは、新聞を授業の教材として使う活動です。新聞を通じタイムリーでリアルティあふれる情報に触れることで、子供たちは社会とのつながりを実感します。学習内容を「自分ごと」として捉え、問題意識を持ち、自ら学びを深めていきます。新聞の機能・役割を学ぶことや、本物の新聞にならった新聞づくりもNIEの活動です。NIEは、学習指導要領が掲げる「主体的・対話的で深い学び」そのものです。

具体的に、どんな活動？

例えば…

資料としての活用 ～教科書をアップデート！～

最新の情報が掲載された新聞を使うことで、学びが広がり、深まります。

複数紙の読み比べ

新聞ごとに事実を捉える視点や伝え方が異なります。読み比べで、物事を多面的・多角的に捉える力が身につく、深い理解につながります。

調べ学習（情報収集）

テーマごとの記事スクラップや、新聞社の記事データベースが探究的な学習の資料として役立ちます。自ら課題を発見し、解決に向けて考える力が身につきます。

…など

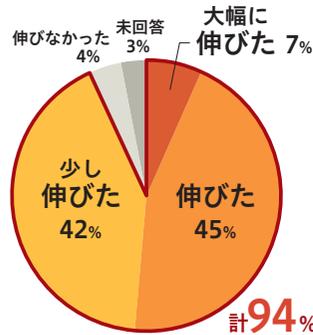
児童生徒の 学ぶ力が上がる！

特に
「読む力」「書く力」

新聞協会が実施した「NIE 学習効果調査」※では、NIEに取り組む多くの先生方が児童生徒の学ぶ力の伸びを実感！

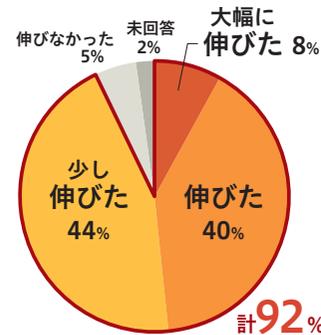
※ 2024年実施、詳細はNIEウェブサイトをご覧ください！

読む力



読む、書くの精度を高める！

書く力



具体的にどんな力が伸びた？ 先生の声から



【読む力】

- 読むスピードが上がった
- 初読の文章でも内容を理解できるようになった
- 必要な情報を取り出す力がついた

【書く力】

- 書くスピードが上がり、分量も増えた
- 文の構成を工夫して書けるようになった
- 文章を最後まで書き切る児童生徒が増えた

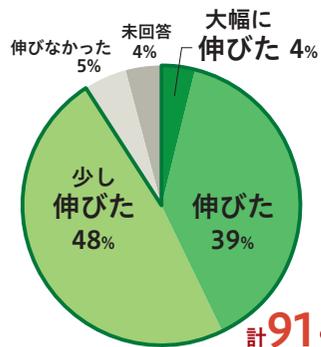


先生の 授業力も伸びる！

NIEに取り組んだ先生たちの9割が指導力向上を実感！



先生たち自身も変化を実感しています



- 深い教材研究や創意工夫につながった
- 授業の構成力がついた
- 社会情勢と教科の学習を結びつけた指導を意識するようになった
- アンテナを立てて情報収集するようになった
- メディアリテラシーへの意識が向上した
- 日常的に新聞を読むようになった



※ グラフの構成比は、小数点以下を四捨五入しているため、合計が100にならない場合があります